



修了式での話

校庭の桜の花が一輪、一輪ほころんできました。春らしい強い日差しも感じます。本日、皆さんに修了証をお渡ししました。進級おめでとうございます。皆さん一人一人が、一年間の取組を振り返るとともに、これからの夢や希望に向けた道筋もしっかりと描いておきましょう。

3月11日に卒業式が行われ123人が巣立ちました。後輩に見送られることなく、ひっそりと新しい道を歩み出しました。同時に2年生が第五中学校の最上級生として、1年生は、新入生の良き兄、姉としての道がスタートしました。ラストの1週間の教室は、残り僅かな日々を大切にしよう、今まで以上にみんなのために頑張ろうとする意気込みを感じました。皆さんの成長を感じました。

卒業式では、代表の阿久津さんが次のようなことを述べました。「今までは、週末や夏休みなどを楽しみにしていました。臨時休校中は、不安や先行きの見えない焦りや、友達との交流を断たれた悲しい日々が連続しました。例年とは全く違う一年間。当たり前が取り戻せない中、友達との小さな活動や何気ない会話の大切さを知り、互いにかけて言葉に、友情の深まりを感じました。」わたしも阿久津さんと同じように人と人の関わり大切さを感じた一年間でした。

これからの令和の時代は、子どもからお年寄りまで、世代を超えて、「他人にはないどんな能力があるのか?」「自分にしかないものは何か?」ということ、問われる時代です。「自分にしかないもの」は自分だけを見ている人にはなかなか見つけられません。たくさんの人々と関わる中で、気が付くものです。チームを組み、学級の活動や部活動に取り組む中で、一人ではできないことを成し遂げる体験ができます。その時、チームの中であなたが必要だということ、自分にしかない良さに気付くことでしょう。新たに、自分が良いと考えていたものと別の良さを発見するかもしれません。

ソーシャルディスタンスが呼びかけられたこの一年間でしたが、距離をとることで、友達を見つめる目、自分を振り返る目が育った一年間でもありました。進級にあたり、4月から新しい学級というチームの中で、心と心のふれあいや友情の深まりを生かし、自らを磨くことができる五中生へと成長してください。

校長 芳尾 信一郎

離任式について

3月31日(水)9時、離任式を行います。新型コロナウイルス感染症防止のため、放送による式としますので、過年度生や保護者、地域の方の参加はできません(校内に入ることができません)ので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、転退職者につきましては、3月31日(水)7時に、マチコミメールでお知らせします。



春休みのしおり

学年ごとに「春休みのしおり」を配付しました。新年度の前定や学習課題、生活上の注意点などを掲載しています内容について、ご家族で確認をお願いします。

春季休業中の連絡は…

- ・平日は五中(電話:251-1414)へお願いします。
- ・土日などの休日は、学校への電話はつながりません。緊急時は水戸市教育委員会学校管理課(電話:306-8673)へお願いします。

